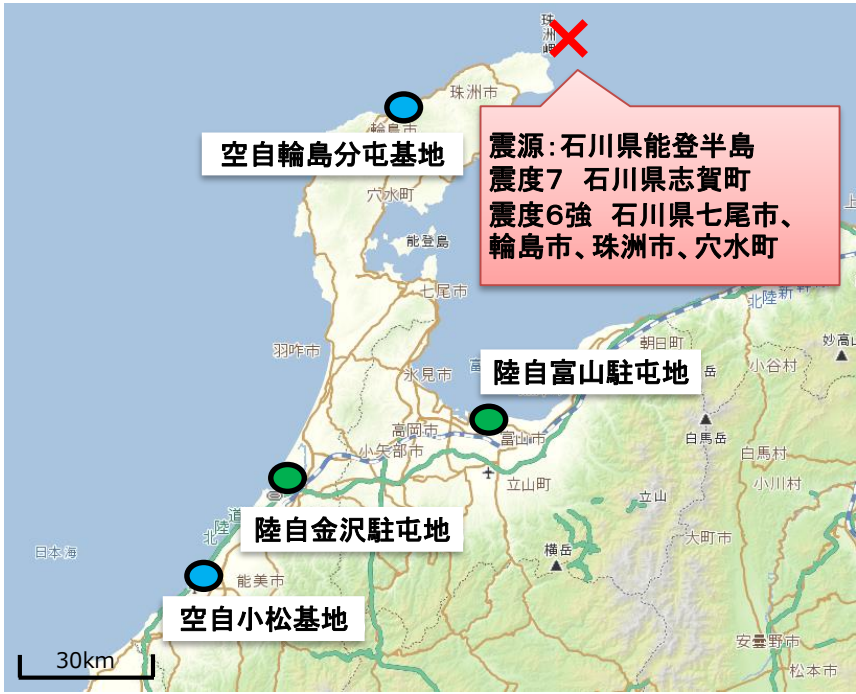


全般	○ 令和6年1月1日（月）1610頃、石川県能登地方を震源とする最大震度7（M7.6、深さ約16km）の地震が発生。 ○ 同日1645、石川県知事から陸上自衛隊第10師団長（守山）に対して災害派遣要請があり、同時刻受理。 ○ 2日（火）1040、陸自中部方面總監を長とする統合任務部隊（JTF）を編成（陸海空自衛隊約10,000名態勢）。 ○ 3日（水）の総理からの指示を踏まえ、1個連隊（約800名）を投入し、避難所におられる被災者の方々が、今、何が欲しいのか具体的な内容をお聞きし、それを速やかにお届けするといった、被災者のニーズにきめ細かく寄り添った生活支援活動を行う予定。
活動態勢	【陸上自衛隊】 約3,150名 航空機19機 【海上自衛隊】 約1,100名 艦艇8隻 航空機3機 【航空自衛隊】 約760名 人員搜索犬12頭 航空機11機 【合計】 約5,000名 艦艇9隻 人員搜索犬12頭 航空機約30機
連絡員の派遣状況	○ 全12箇所に計34名の連絡員（LO）を派遣し情報収集活動を実施。
活動実績（延べ）	人命救助：164名 輸送支援：糧食約5,100食、飲料水約36,000本、毛布約2,175枚 燃料2000L 等 給水支援：約120t 道路啓開：県道1号、52号、57号、285号及び国道249号の一部区間



<4日（木）の活動>

【人命救助活動】

- ・空自航空救難団のUH-60×1機により千枚田道の駅から金沢駐屯地までの間、患者5名の搬送を実施
- ・陸自第10飛行隊のUH-1×1機により東陽中学校から鞍月セントラルパークまでの間、患者2名の搬送を実施
- ・空自人員搜索犬が市内3箇所において搜索活動を実施
- ・空自航空救難団のUH-60×1機により大谷中学校から石川県産業展示館まで患者5名の搬送を実施
- ・陸自中部方面航空隊のCH-47×1機により患者6名を金沢駐屯地まで搬送を実施
- ・陸自第35普通科連隊が輪島市内門前町西円山において要救助者26名を発見し、内16名を車両にて浦上公民館への搬送を実施。
- ・陸自第4施設団が珠洲市にて要救助者1名を救出
- ・陸自第14普通科連隊、珠洲市若山町にて3名を救出し正院小学校への搬送を実施
- ・護衛艦「ありあけ」搭載のSH-60×1機により、旧西保小学校から鞍月セントラルパークへ4名の搬送を実施（妊婦1名、付添3名）
- ・空自小松救難隊のUH-60×1機により患者1名を木ノ浦海域公園から小松基地へ搬送を実施

【輸送支援活動】

- ・陸自中部方面航空隊のCH-47及び第36普通科連隊の車両によりプッシュ型支援を実施
- ・護衛艦「ありあけ」が物資輸送（水、食料、燃料）を実施。
- ・海自のエアクッション艇（LCAC）にて大川浜への救援物資の搬送を実施
- ・護衛艦「ありあけ」及び「あさぎり」搭載のSH-60×各1機により東陽中学校、南志見多目的グラウンド、輪島市門前県民体育館及び旧西保小学校への物資輸送（水、毛布、赤子用品、生理用品）を実施。
- ・陸自中部方面航空隊のUH-1×1機により東陽中学校及び大谷小学校へ物資輸送を実施
- ・空自第7航空団が大型車両×4台により入間基地へ簡易トイレの搬送を実施

【給水支援活動】

- ・珠洲市、志賀町、能登町、穴水町、七尾市において給水支援活動を実施
（陸自第14普通科連隊、第33普通科連隊、第35普通科連隊、空自第6航空団、高射教導隊）

【給食支援活動】

- ・陸自中部方面後方支援隊が輪島市三井公民館にて、調理場を開設し給食支援を実施。
- ・空自第6航空団が七尾市中島小学校及び中島コミュニティセンターにて給食支援を実施。

活動の様子



陸自中部方面航空隊による輸送支援



陸自第35普通科連隊による救助活動



プッシュ型支援積み込みの様子（石川県産業展示館）



エアクッション艇（LCAC）による物資輸送



陸自中部方面後方支援隊による給食支援（三井公民館）



空自第6航空団による給食支援（七尾小学校）